



*このプレスリリースは2009年3月20日に英ロンドンで発表された資料を和訳したものです。

日本時間 2009年3月20日

ソニー・エリクソンの2009年度第1四半期連結業績について

英国、ロンドンー本日、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズAB（「ソニー・エリクソン」）は、2009年度第1四半期（1-3月期）の売上高および税引前利益が、引き続き携帯電話需要の減少と小売店および流通チャネルにおける在庫調整による悪影響を受ける見込みである旨の発表を行いました。

最終的な実績とは異なる可能性があります。ソニー・エリクソンは2009年度第1四半期の携帯電話端末の販売台数を約1,400万台、端末の平均販売価格を120ユーロと見込んでいます。2009年度第1四半期の売上総利益率は前年同期比および前四半期比ともに低下する見込みです。また、構造改革費用を除いた税引前損失は、340百万ユーロから390百万ユーロの範囲となる見込みです。構造改革費用は10百万ユーロから20百万ユーロの範囲となる見込みです。

ソニー・エリクソンは、日本時間 4月17日（金）15:30に2009年度第1四半期連結業績を発表する予定です。

ソニー・エリクソンは、2008年に約9,700万台の携帯電話を販売した世界でもトップクラスの携帯電話メーカーです。ソニー・エリクソンは、80を超える国々でビジネスを行い、中国に製造拠点を、そして中国、欧州、インド、日本および北米に研究開発拠点を擁するなど、その多様性は主な強みのひとつでもあります。ソニー・エリクソンは、2001年10月にソニー株式会社とエリクソン社の折半出資によって設立された合弁会社として、グローバル本社機能をロンドンに置いています。

ソニー・エリクソンに関する詳細は右記URLをご参照ください：www.SonyEricsson.com

本件に関する投資家関係からのお問合せ先：

ソニー株式会社
IR部門 電話：03-6748-2180

エリクソン社
Investor Relations 電話：+46-10-719-0858

注意事項

この発表文には、ソニー・エリクソン固有のリスクや不確実な要素を含む将来の業績に関する見通しが記載されています。ソニー・エリクソンは、これら将来の業績に関する見通しとは大きく異なる結果を生じうる、特定の重要な要素を複数認識しています。これらソニー・エリクソンに関するリスク要素の詳細については、ソニーおよびエリクソン社が米国証券取引委員会に提出した書類、特に両社の最新版の年次報告書(フォーム 20-F)をご覧ください。